

信州うえだ謎解きさんぽ 2020

パズル小説®上級編

上田の心



■掲載：2020年11月20日～12月20日

■主催：上田商工会議所

■制作：パズル小説®作家 廣川州伸



令和二年度 特別企画

信州上田 パズル小説®

上田の心

パズル小説®作家 廣川州伸

【謎解きクロス】

※謎解きクロス®は、問題のなかにあるキーワードをパズルのフレームにあてはめ、解答を探すパズルゲーム。謎解きクロス®を使ったエッセイや物語などを「パズル小説®」と呼んでいます。

これから始まる物語を読み、謎解きクロス®を解いて、真犯人（しんはんじん）を当ててください。

ある晴れた日の朝。

「大変です！ 池野所長、おきてー！」

と叫んだのは、アルバイトの西澤（にしざわ）君。

そこは東京にある『探偵@ホームズ』という事務所（じむしょ）である。

そこでは凶悪（きょうあく）な事件や夫婦ゲンカなどのややこしいことは調べない。彼らの専門（せんもん）は、地域（ちいき）の魅力（みりょく）が失われた事件を解明（かいめい）することだ。

「上田で、解答@ルパンがあらわれました」

池野所長は、西澤君の話を聞いて叫んだ。

「また**上田の心**をねらっているな。それは一大事。容疑者（ようぎしや）は……上田をこよなく愛する六人衆か……西澤君、三密（さんみつ）を回避（かいひ）しながら上田の街（まち）を調べ、真犯人をあぶりだしてほしい」

西澤君は、上田駅のお城口広場に向かった。

■穴山小助を発見する

謎解きをするには、実際に上田の街に出て、眞田十勇士（さなだじゅうゆうし）の一人「穴山小助（あなやまこすけ）」を探す必要（ひつよう）がある。



根が**真面目**（まじめ）な西澤君は、「お城口」を出て大きな交差点を斜めにわたり、眞田坂（さなださか）をのぼった。右手にあった「ビジネス志摩」の先、上田駅ビル「パレオ」に上がるエスカレーターの入りが口がある。

そこまで来て、西澤君は気づいた。

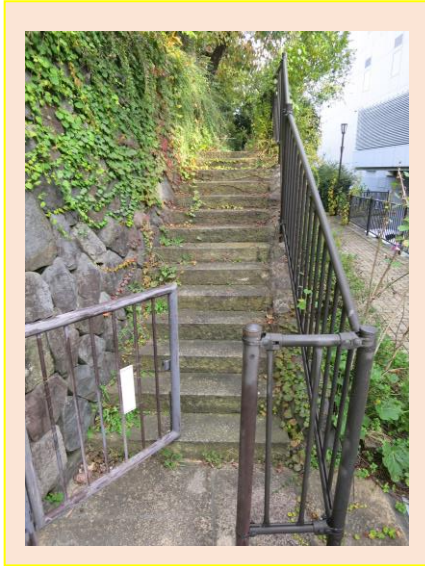
「あそこにいるのは、穴山小助！」



■源兵衛坂の階段

西澤君が注目したのは、池野所長**お気に入り**の穴山小助のモニュメント（像）ではなかった。彼は、奥にある二つの道を見ていた。

一つは、石段になっている。そこを上がりたいが、鉄の柵（さく）があり、入りにくい。



勝手に入ったら犯罪（はんざい）だろう。もう一つ、右の坂はきれいに舗装（ほそう）され、歩いてもよさそう。立札（たてふだ）があり「源兵衛坂（げんべえざか）の由来（ゆらい）」が書いてある。



※源兵衛坂の道を上った鷹匠町の細道の西側に、江戸時代の仙石氏の頃、馬柄左右衛門の屋敷があり、宝永三年の松平氏の時代には、この屋敷に並河源兵衛が住んでいた（以下略）

■そこは、何段あるのか？

探偵という仕事は、注意力が必要である。
源兵衛坂の由来を知り、その道を歩いていく



西澤君は、坂
の途中から、

階段になって
いることに気
付いた。

階段は二つ
あった。

一つは、踊
り場にいくま
で。踊り場を
右手に行けば、
パレオに行く
ことになる。

一つは道なりにのぼる階段で、鷹匠町（たかじょうまち）から海野町（うんのまち）の界限（かいわい）に通じている。すなわちこの坂は、**急ぎ**のときに、上田駅から海野町に抜ける近道となる。



このような

坂道があり、
しかも階段が
作られている
となると、探
偵としては、
自然に手帳に
手がのびる。

源兵衛坂に
ある階段は全
部で何段ある
か……西澤君
はメモした。

■重要なヒント

ちなみに、穴山小助像の横にある鉄柵の向こうの古い階段は、14段だった。さかのぼれば、

しなの鉄道・



上田駅の改札を抜けて右手に行き、そこからお城口に降りるところにも階段があった。改札フロアから踊り場まで20段あり踊り場から1階へも同数であった。

西澤君は、源兵衛坂の階段を上り切ったところで、その数をメモし、東京で待機(たいき)している池野所長に連絡を入れた。

「所長、上田に着きました」

「ご苦労さま。期待しているよ」

「ありがとうございます。ところで解答@ルパンから連絡はなかったでしょうか」

「それなら来ているからメールします。それにしても、**今更**(いまさら)ながら、解答@ルパンの目の付け所は、おもしろいね」

池野所長からきたメールには、解答@ルパンが提供した特別ヒントが書かれていた。

【源兵衛坂の階段は入口から出口まで何段?】

□約25段↓タテの7文字は「**上田の明日**」

□約30段↓タテの7文字は「**二足の草鞋**」

□約35段↓タテの7文字は「**時代の変化**」

■謎の解き方

ここで、謎解きクロス®や、パズル小説®が初めてという読者に、少し説明おこう。



■かつて信州上田で行われたミステリーウォークは、三密を避け、一人、カップル、家族で楽しめるイベントでもあった。

信州上田の秋は、本来ならさまざまなお祭りやイベントでにぎわっている。それが、2016年のNHK大河(たいが)ドラマの誘致(ゆうち)と「真田丸(さなだまる)」の放送に結びついた。

「信州うえだ謎解きさんぽ」も、街歩きや謎解きしながら地域にある魅力を再発見していくミステリーウォークとして、上田市街のにぎわいを生み出してきた。

紅葉狩り(もみじがり)の季節には、これまで通り、イベントは期待されていた。そこに新型コロナウイルスがおそいかかり、三密(さんみつ)につながる催事(さいじ)はことごとく中止となった。

何よりも市民の安全が第一であり、商店街の人々も、**苦難**(くなん)の終焉(しゅうえん)に向けて努力を重ねてきた。

三密にならない新しい生活を考え、未来への希望の火を消さずに生きてきたのである。

学者は**会議**（かいぎ）を重ね、医療（いりよう）関係者は研究（けんきゅう）や治療（ちりよう）、市民は自粛（じしゅく）協力をすすめ、深い**森**（もり）の奥にいたウイルスの正体（しょうたい）が少しずつ、みえつつある。来年**四月**には、世界的な流行も、大きな**変わり目**を迎えると期待される。

新型コロナウイルス対策をしながら楽しむ新しい生活にも適応（てきおう）していることだろう。

そのヒントは歴史（れきし）が教えてくれた。

ある日、NHK朝のニュースでアメリカに住む女性が紹介された。彼女は百年前のスペイン風邪のとき1歳だったが、惨状（さんじょう）は家族に聞いて知っていた。今回は人生二度目の大流行。そこでリポーターが、これを持ちきる秘訣（ひけつ）を聞くと、彼女は「大丈夫。だって編み物・読書・パズルがあるから」と答えた。

一人で静かに楽しむことはできるのである。

■上田の魅力を求めて

地域の魅力を盗むことが仕事の解答@ルパンは「信州うえだ謎解きさんぽ」に目をつけた。

この催事は、街中を**カモシカ**のように駆け抜けてなくても、少人数で、のんびりと散歩をしながら楽しむことができる。

解答@ルパンは、大胆（だいたん）にも、上田で一番大切なものを盗むことにした。大都市に住んで喧噪（けんそう）のなかで生きる都市生活者からみれば、信州上田の魅力は際立っている。

上田駅を降りると、戦国時代の英雄（えいゆう）真田幸村（さなだゆきむら）の騎馬像（きばぞう）があった。大きな水車もひかえている。

上田の中心市街地は、幸村の父・昌幸（まさゆき）によつて築城（ちくじょう）された城下町・宿場町（しゅくばまち）のおもむきが感じられた。

上田の近隣（きんりん）には、名の知れた高原や温泉があり、都市生活者の心をいやす環境（かんきよう）が整っている。

だが、2020年春の緊急事態宣言（きんききゆうじたいせんげん）以降、上田市街が注目されているのは豊かな観光資源（かんこうしげん）だけではない。恵まれた自然環境に加え、新幹線なら東京駅まで一時間半もかからない近さ。これを**通い**（かよい）や通勤とみると真価（しんか）を見失う。

新型コロナウイルス禍ではテレワークが注目された。都心に通勤しなくとも、生活しやすい地方都市に移住し、週に1回、あるいは月に1回、直接のコミュニケーションが必要ときには、都心にある本社で集まればいい。

上田市街地は、テレワーカーの移住先としてますます注目される。その理由の一つに「上田の心」があると、解答@ルパンは気づいた。

探偵@ホームズ事務所では、解答@ルパンが上田市から盗もうとしている「心」について調べ、それを守る手立てを考える。だが上田の心とは何だろう……西澤君は、池野所長から教わった「上田六人衆」に会って「上田の心」について話を聞くことにしてスニーカーの**靴紐**（くつひも）をしめなおした。

真犯人は？

【容疑者・上田六人衆】

- ☐ 志摩充彦さん
- ☐ 柳島隆二さん
- ☐ 河合良則さん
- ☐ 瀬下 敦さん
- ☐ 藤岡幸司さん
- ☐ 畠中俊哉さん

※六人のなかに真犯人がいる！

■容疑者①志摩充彦さん

容疑者の志摩さんは、昭和20年創業の歴史ある文房具・ビジネス用品店の店主である。



■上田の心ってなんですか？

・それは、ひょっとしたら時代の「忘れもの」かもしれないね。

その店名は『志摩商店』『志摩文房具店』そして『ビジネス志摩』と、時代に吹く風に合わせて変わってきた。

インターネット全盛の今日、店が生き残るコツは、志摩さんの丁寧な接客にあるのだろう。

「志摩さん、こんにちは。観光客、とりわけ外国人の姿は、めっきり減ったようですが」

「残念だけど、しばらくはがまん。でも、お客様への気持ちは変わらない。日本製の文房具にこだわって、心をこめて魅力を伝えていきます」

「それで店内には、浮世絵や花札などの面白い和風の折り紙がたくさんあるんですね。そんな志摩さん、上田の心を一言でいうと……」

「ものを大切にすることかな。武士は戦いのにきに**槍**（やり）を持つ。漁師は**竿**（さお）を手にして魚を釣る。いずれも、大事な道具には魂をこめて手入れをしてきたんだよ」

■容疑者②柳島隆二さん

容疑者の柳島さんは、海野町（うんのまち）の中
華料理店『檸檬（れもん）』の料理人だ。



■上田の心ってなんですか？

・それは、ひょっとしたらグルメの「人気もの」かもしれないね。

お客様とのコミュニケーションを大切にしている檸檬は、映画ロケやマスコミ取材をきっかけに著名人がたくさん来店した。

とくに2020年末、NHK紅白歌合戦の白組司会を務めることになった俳優の大泉洋さんが気に入ったという什景炒麵（シーチンチャオメン）が人気となっている。

「シーチンチャオメン……何ですか？」

「五目あんかけ焼きそばのことだよ。お好みで**辛子**（からし）を使うと、さらに美味しい」

「柳島さんは、注文を受けてから料理を始めるから大変ですね。こだわりを感じます」

「心を込めて作り立てを食べていただく。それが料理人のこだわりだから作り置きはしない。

おかげで手首はいつも痛むけれど、中華ナベを**ヤシロベエ**のようにバランスをとって回せば、力は少なくて大丈夫だから、がんばるよ」

■容疑者③河合良則さん

容疑者の河合さんは、1982年創業のカワイ薬局を経営している。



■上田の心ってなんですか？
・それは、ひよっとしたら人類の「宝物」かもしれないね。

カワイ薬局は、お客さまの健康相談、保険調剤を行っている。さらに、在宅（さいたく）で療養する患者宅を訪問して服薬指導（ふくやくしどう）もすすめている。

医療関係といえば、**敷居**（しきい）が高いと感じる人もいるかもしれない。だが河合さんは団体の**理事**（りじ）も務めるような偉い人だが、えらぶらず、きさくな人柄で知られている。

池野所長によれば、歴史ある河合家は、かつてロシアの小説家トルストイの孫・トルスタヤが亡命する際に屋敷に住まわせていたという。

「河合社長、上田の心は何だと思えますか」

「西澤君、また難しいことを考えたね。あえていうなら、人と人との絆（きずな）で、ないがしろにできない上田市民の大切な宝物であることは間違いない。でも、考えすぎて**胃炎**（いえん）になったら、ちゃんと薬を飲むですよ」

■容疑者④瀬下 敦さん

容疑者の瀬下さんは、明治38年創業という老舗（しにせ）の瀬下洋服店を継承している。



■上田の心ってなんですか？

・それは、ひょっとしたら家族の「探しもの」かもしれないね。

瀬下洋服店紳士服、婦人服のオーダーメイドで、心をこめて入念に仕立てることで知られている。瀬下洋服店では、何よりもお客様の気持ちに寄り添う心を大切にしている。

「お客様がどんな服がほしいか、じっくりとお話を聞く。それから生地を選び、こんなデザインがいいと決めていただく。けっしてあわてない。年代を問わず積極的におしゃれを楽しむ方に、旬（しゅん）のファッションを提案したいから」

「だから気持ちにフィットするのですね」
「仕上りを、お客様の身体や気持ちにぴったりと一致させる、それは職人のこだわりです。心をこめた仕事をしたいから」

「ところで瀬下社長、上田の心は何でしょう」
「いつもお客様を気に掛けることかな。西澤君、コロナ禍が収まったら**渡米**（とべい）するといいよ。若いうちは、冒険しなくちゃ」

■ 容疑者⑤ 藤岡幸司さん

容疑者の藤岡さんは、松尾町で創業百年以上の老舗である藤岡薬局を経営している。

■ 上田の心ってなんですか？
・それは、ひよっとしたら優しい「壊れもの」かもしれないね。



藤岡さんは、藤岡薬局の四代目。彼のモットーは、いつも最善をつくすこと。

そのため藤岡さんは日々の仕事で、自信のある薬を差し上げたか、本当に親切であったか、充分に説明して差し上げたか、満足して帰られたか、努力に不足はなかったかと、自問しながら仕事をすすめている。

「なぜ接客（せつきゃく）にこだわるのですか？」

「私たちは薬を扱っている。薬は、お客様の健康と心のあり方に影響するから」

「上田の心も、健康が支えているのですね」

「直接治療はしないけど、元気に、笑顔になってほしい気持ちは、お医者様とわらないよ」

「藤岡さんは初詣（はつもうで）のとき、**絵馬（えま）**に何て書きますか」

「健康と書きたいな。心も体も、とっても壊れやすいものだから、大切にしてほしい」

■容疑者⑥ 畠中俊哉さん

容疑者の畠中さんは、大人のミセス向けのファッション店を経営している。



■上田の心ってなんですか？

・それは、ひょっとしたら天下の「儲けもの」かもしれないね。

アパレル最大手ワールドの品揃えで知られる『ベルワールド ハタナカ』では多くのワールドブランドを展開。ふだん着になるお手ごろ価格のラインがあるのも人気の秘訣（ひけつ）だ。

畠中さんは、店を切り盛りするかたわら、商店組合の**長**（おさ）としても活躍している。

「西澤君、こんにちは。情けない**面**（つら）して、どうしたの。六人衆に話は聞けたかな？」

「おかげさまで。畠中さんが最後です」

「まさか、ぼくが真犯人ってことはないよね」

「さあ……畠中さん、上田の心って何でしょう」

畠中さんが答えようとしたときお客様が来られ、西澤君は三密を避けるため、畠中さんの背中に**さようなら**と声をかけて店外に出た。

そのとき西澤君は気づいた。これまで店内で流れていた曲は、スターダスト☆レビューが歌った「**木蓮**（もくれん）の涙」だったことを。

■えびす講を楽しむ

上田の街は黄昏に近く、どこから**辻占**（つじうち）と呼ばれる占い師があらわれそうな、わくわくする時間が近づいていた。

上田六人衆に「上田の心」について聞いて回った西澤君の手に、いつの間にかパンフレットが握られていた。それは「えびす講売出し」の案内で、そのなかにこんなくだりがあった。

【えびす講の由来】

神無月（旧暦10月）に出雲に赴かない「留守神」とされる恵比寿神を祀り、一年の無事を感謝し、五穀豊穡・商売繁盛を祈願する行事です。

11月20日前後にかけて催され、この時期、農村では収穫が終わり稼ぎが入ってきます。

懐が一年間でもっとも温かくなった農家の人々が街へ繰り出し、街は大賑わいとなります。

【上田えびす講の歴史】

上田のえびす講は天保9年（1838年）10月20日より始まったとされ、明治元年には1月20日に改められました。

大正から昭和期にかけて、さらに賑やかな秋の商業祭へと姿を変えていきました。大輪の花火が何発も打ち上げられ、高々と積み上げられた米百俵が祭りの盛り上がりを表しています。

戦時中は中断を余儀なくされましたが、戦後まもなく復活しました。経済が成長していくにつれ、福引き付き大売出しや数多くのイベントが盛大に催され、かつての賑わいを取り戻していきました。

昭和50年代までは全市連合の形で行なわれていましたが、その後商業環境の変化もあり、現在では一部の商店や商店街で行なわれる形で残っています。

■探偵助手、上田の街を歩く

探偵@ホームズ事務所です。探偵助手をしている西澤君は、これまでも何度か、池野所長とともに上田市街にやってきました。

池野所長は、こう言ってくれた。

「せっかく、えびす講の時期に上田市街に行くんだから、楽しんでね。西澤君が好きな美味だれの焼き鳥や**鯛刺し**（たいさし）のあるお店、こだわりの**タピオカ**が飲める店もある」

西澤君は、ビジネスホテルにチェックインして、**仮眠**（かみん）をとってから街なかを歩くことにした。ちなみに、西澤君が立ち寄りたい店舗を列挙すると「みずぎ飴」「若林陶器」「だいこくや」「ゆたかや」「富士アイス」「太陽マルシェ」「平林堂書店」「千野菓子店」……とても**漏れ**（もれ）なく紹介することはできない。

西澤君は、上田の街を歩いていると、上田の**誠**（まこと）の心がつかめた気がした。というのも、どの店舗にも「こだわり」が感じられたから。「ひよつとしたら、それが……」

【三密回避 七か条】

- 必ずマスクを着用してください！
 - お買い物は1人または少人数で！
 - 混雑時を避けて空いている時間！
 - 店内では、人との距離をあけて！
 - お店の利用はなるべく計画的に！
 - 短時間でのお買物を心掛けて！
 - お買い物では、必要な分だけに！
- ※ここを込めお待ちしています！

■上田の心がつながった!

解答@ルパンは、上田の街から、いったい何を盗もうとしていたのだろうか。

それは「上田の心」というものらしいが、では、そもそも上田の心とは、何だろうか。

今日の社会は「スピード」が求められる。

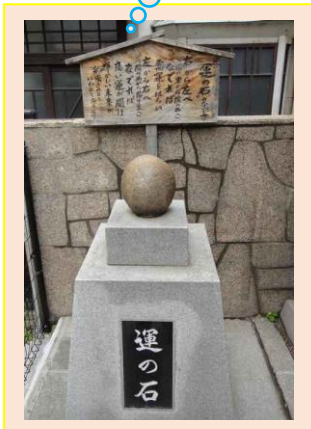
スマホでインターネットを検索(けんさく)すれば、そこには一生かけても読み切れない文字があり一生かけても見果てることない画像(がぞう)が置かれている。最近では多くの画像が動き出し、社会の出来事を見せてくれる。

しかし、膨大(ぼうだい)な量の情報に対して、一人の人間がもっている「時間」は、あまりにも少ない。だからAI(人工知能)を使って情報を選択し、自分に必要なものだけを選んで、好きなものだけをサクサクと消費する。

それが都市生活者のライフスタイルであり、そこではスピードが求められる。SNSで「元気」と声をかけられ、返事を三日後にしたら嫌われる……それが2020年のリアルな現実である。しかし上田に流れている「時間」は濃厚(こうこう)で、人の「心」を感じさせた。

上田の心は、一日にしてならず。長い歴史と、たくさんの人々が支える大切な「**ABCDE**」なのである。

ラッキー!



■真犯人をみつける手順

謎解きクロスは題の文章にあるキーワードをフレーム（20ページ）にあてはめ解答を探すパズル。真犯人をみつける手順を説明します。

【謎解きクロスを解く】

- パズル小説の全文を読む
- パズル小説のなかで言葉の書体が異なるキーワードを探す。今回は34の言葉がみつかる。
- 言葉をカタカナにして記入欄にジグゾーパズルのようにはめていく。

□言葉がうまりABC…の文字を集めるとある単語（謎解きクロス®の解答）が浮かんでくる。

■6人いる容疑者のなかで、**謎解きクロス®の解答を語った「いい人」が上田の心をねらっている真犯人**となります。

容疑者は6人。真犯人は、その6人の言葉を考えればわかるはず。答えがわかったら、**真犯人の名前を書いて応募**してください。

■応募方法

官製はがきに真犯人の氏名、あなたの住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記し**12月23日（水）**必着で、左の応募先までお送りください。抽選で、ステキな景品が当たります。なお、当選は景品の発送をもって代えさせていただきます。

■応募先

〒386―8522

長野県上田市大手1の10の22

上田商工会議所「信州うえだ謎解きさんぽ」係

※本事業で得た個人情報 は本事業以外に利用いたしません。

1 A		2	3		4	5		6 B
		7		8				
9	10		11				12	
13		14				15		
	16			E				
17						18		19
20			21		22		23	
		24				25		
26 D					27			C

A	B	C	D	E
----------	----------	----------	----------	----------

謎解きクロス®解答記入欄